

こんにちは！ 初めまして。

私は、香川県弓道連盟の近藤千代です。今年のねんりんピックで岐阜へ行く予定でした。ところが、コロナ感染拡大のためにねんりんピックが中止になり、大変がっかりしておりました。大変残念な思いでおりましたところ、渡邊校長先生から、香川県健康福祉機構へ送られたメールを拝見し、大変立派な横断幕の写真を見てびっくり、感動しながら、皆さんの作成風景や美術部だよりを読んで、本当にありがたいなあ、一言お礼を言いたいなあ、と思いました。暑い夏休みの間に、登校し美術部のみんなで力を合わせて横断幕を作って下さったのですね。ありがとうございます！！

鮮やかな青にきれいな虹がかかり、元気の出る黄色で「がんばれ！輝け！香川県！」という言葉がくっきり、大きな応援の声がしっかり届きました。かわいいうどん脳君がうどんを食べているのを見るとうどんが食べたくくなります。

香川県民は、本当にうどんが好きで、朝からモーニングうどんがあったり、町の喫茶店(カフェ)のメニューには必ずうどんが入っていたり、丸亀城から石を投げたらうどん屋に当たるとい都市伝説があったり、学校の運動会のバザーもうどんがあったり、うどん屋がいっぱいあるのにスーパーではうどん玉が何種類も売られていたり、大学生が帰省中に毎日うどん屋へ昼ご飯に通ったり、うどんラリーで10件行ったと自慢したり... 香川県民の一人としてもあきれちゃいます！！

ところで、私事で恐縮ですが、私も中学校時代は、美術部に所属し絵が好きで毎日描いていました。一年生の夏休みに初めて油絵を描きました。学校の中庭に一日中坐って描いていると、先生方が色々感想を言ってくれておもしろかったです。気が付くと服や顔に絵の具が付いていて、油絵具は石鹸で洗うのに大変でした。美術部の皆さんの横断幕を持った笑顔を見ていると、こんなエピソードを思い出してしまいました。人生は、不思議なもので、美術の先生になるつもりでしたが、気が付くと英語の先生になっていました。世界のいろんな国の人々と話せるのが楽しいし、外国の人達に日本の伝統文化や弓道を教えることもあります。50歳の時、鳴門教育大学大学院で渡邊校長先生と同級生になりました。200ページくらいの論文を書くのは大変でしたが、やりたいことは年齢に関係なくできるんだなと思いました。今は66歳、53歳から始めた弓道(現在五段)に夢中です。目標は、錬士取得と日本中制覇(現在26県)を目標にしています。岐阜県が27県目になるはずだったのです。いつか、必ず岐阜県で弓道をしますからね。その時は、皆さんの誰かにお会いできるかもしれませんね。また、外国のどこかで開催される世界大会にも参加したいです。子供のころは、泣き虫で臆病で、根性なしでしたが、自分の夢は大事にしてきました。よく頑張っている皆さんに、「がんばれ」とは言いません、自分のことを大切に、小さなチャレンジをしながら、自分らしく成長してください。

さて、最後になりましたが、夏休みに頑張った、皆さんにご褒美を贈らせてください。「瓦せんべい」です。うどんもいいですが、讃岐名物は、うどんだけではありません。この瓦せんべいは、昔、子供のころよく食べていたもので、ほんとうに大きくて固いせんべいでした。かじると歯が欠けそうで、頭蓋骨にゴリゴリ響きます。今は、安全のためか小さい薄いサイズの物が売られています。でも、そんなものは贈りません。ぜひ、本来の屋根瓦のような瓦せんべいにチャレンジしてください。(歯に自信のない人はかじらないで、かけらをなめてくださいね！それでも、おいしいですから。)3枚しかないので上手に分けてくださいね。

ぜひ、香川県にもきて下さい。私の住む西部には、最近世界的に有名になった、天空の鳥居:高屋神社、日本のウコニ塩湖:父母が浜、ニューヨークタイムスで今行きたい絶景3つに選ばれた紫雲出山から見た瀬戸内海等があります。海外からもたくさん観光に来ていました。お待ちしております。

では、コロナに負けずに元気にお過ごしください。

近藤千代